

花粉症対策本部第9回全体会議 議事要旨
【平成24年10月30日（火） 7階北側庁議室】

（副本部長挨拶）

今日は、本部長の副知事がどうしても出席できないということでございますので、私の方からひと言ご挨拶申し上げます。

東京都におきましては、平成18年度から総合的花粉症対策といたしまして、森林整備を進めることによるスギ花粉の発生源対策をはじめ、花粉飛散量の観測や舌下減感作療法の研究等の保健医療対策、或いは大気汚染対策など全庁をあげた様々な取組を行ってまいりました。さらに九都県市とも連携をいたしまして、幅広い取組を進めていくことによりまして、着実に成果があがっているものと考えております。

花粉発生源対策におきましては、スギ林の伐採と花粉の少ないスギの植栽を進めまして、伐採した木材を多摩産材として各局において積極的な利用を図っていただいているところでございます。昨年11月には、都の多摩産材利用推進方針を改正していただきまして、区市町村に対しましても多摩産材の更なる利用をお願いしているところでありますが、やはり、都の率先利用が重要であります。各局における一層の利用拡大に向けた取組を、この場を借りましてお願いをいたします。

また、都民協働としての「花粉の少ない森づくり運動」におきましては、「緑の東京募金」や「企業の森」などで広く協力をいただきまして、このたび2億円近い募金をいただきました。さらに、昨年度から東京マラソンチャリティー“つなぐ”事業を通じまして、多くの方々から多大なご寄付をいただいております。

今後も、これらの募金などを有効に活用いたしまして、引き続き、施業を進めていくとともに、さらなる創意工夫によりまして、様々な都民参加の仕組みづくりを図っていきたいと考えております。さて、先日発表された日本気象協会の予測では来春の関東地方の花粉飛散数は、猛暑の影響もございまして例年の1.5倍、今年の2～5倍程度との予測がでております。年毎に飛散量の波はございますが、多くの都民の皆様が花粉症で苦しんでおられる状況に変わりはありませんので、着実に対策を進めていくことが重要だと考えております。

今後とも各局の皆様方が、これまで以上の協力・連携を図りまして、総合的花粉症対策を発展させていきたいと考えておりますので、このことをお願い申し上げまして開会にあたっての挨拶といたします。よろしくお願いたします。

（事務局説明）

- ・花粉症対策本部は、医療福祉、大気汚染対策を中心とした従来の花粉症対策に、新たに花粉発生源対策を加え、関係14局の協力体制のもとに、花粉症対策を推進していくために設置された。
- ・広域的かつ総合的な対策を講じるために、国や九都県市とも連携。
- ・花粉発生源対策として森林整備、多摩産材の流通、試験研究調査、都民協働の4つの部会、保健医療対策として保健医療部会、各局の独自の取り組みとして大気汚染対策及び消

花粉症対策本部第9回全体会議 議事要旨
【平成24年10月30日（火） 7階北側庁議室】

費者保護対策等の7つの部会を下部組織として行っている。

（議事）

＜東京都花粉症対策本部の取組＞

- ・ 森林整備：平成23年度実績及び平成24年度計画
- ・ 多摩産材の流通：平成24年度以降も引き続き、公共事業における更なる利用拡大を図る
- ・ 試験・研究・調査：共同研究による「林業コスト削減調査・研究」を引き続き実施
- ・ 都民協働：「花粉の少ない森づくり運動」の推進のため、募金活動、企業の森、森づくり支援倶楽部、花粉飛散時期における「花粉の少ない森づくり運動」の一斉PR、多摩産材の普及PR、パスモ電子マネーによる募金、みどりの東京募金を継続的に実施。
- ・ 保健・医療：総合的な花粉予防・治療対策に取り組んでいる
- ・ そのほか：大気汚染対策、消費者保護対策等

＜主伐事業と木材流通＞

- ・ 主伐事業による実績について説明
- ・ 伐採により生産した木材は、多摩木材センターにて市売りされるA材、合板用のB材、チップ用のC材としてそれぞれ利用

＜多摩産材の利用拡大＞

- ・ 各局における活用事例とともに実績を説明
- ・ 首都大学東京学内レストラン・ウッドデッキでの利用や島しょの治山・林道工事等における利用等（総務局）、東京芸術劇場合唱室の壁の板材・練馬特別支援学校の腰壁等（財務局）、都営住宅の建設工事及び公園緑地整備工事・公社住宅の建設工事等（都市整備局）、登山道の改修工事や都民の森の遊具等への多摩産材利用（環境局）、道路工事・河川工事・公園整備における利用（建設局）、間伐材を活用した水道水源林の保全作業・治山工事等（水道局）、多摩産材の利用拡大事業によるモデルハウス建築・保育園への木製遊具の設置（産業労働局）等

＜花粉の少ない森づくり運動＞

- ・ 平成24年春における花粉飛散時期のPR活動の内容、企業の森実績、小学生における木工体験等、東京マラソンチャリティ“つなぐ”事業を通じた募金活動及び森林整備
- ・ 国及び他県への広がり状況

＜総合的な花粉症予防・治療対策の推進＞

- ・ 今春の花粉飛散量を報告

花粉症対策本部第9回全体会議 議事要旨
【平成24年10月30日（火） 7階北側庁議室】

- ・花粉自動測定・予報システム「とうきょう花粉ネット」について、花粉予報マップ及び花粉予報メール配信サービスの運用・実施状況を説明
- ・平成18年から進めている舌下減感作療法の臨床研究の状況を説明、実用化に向け製薬メーカーが治験中

《その他報告等》

- ・交通局：パスモ電子マネーによる花粉の少ない森づくりへの募金の状況を報告
- ・総務局：首都大学東京と東京都農林総合研究センターの共同による林業におけるコスト削減に関する調査について、進捗状況を報告
- ・産業労働局：企業や都民の森づくりへの貢献を二酸化炭素の吸収量・固定量として見える化し、インセンティブを与える「東京森づくり貢献認証制度」を開始